

HOWS

本郷文化フォーラムワークススクール

お知らせ

★コロナ感染症拡大のため、後期講座も**20人定員・時間短縮・事前予約制・マスク着用**で行ないます。
 ★また急きょ中止・延期する場合がありますので、参加希望の方は必ず電話番号をお教えてください。

〈シリーズ〉レーニン『帝国主義論』を読む 第3回

日時

2月13日(土)

開始 13:00
 終了 15:30

講師

山下勇男

社会主義理論研究

『帝国主義論』から100年後の現代世界

第1講と第2講はテキストの読解に時間の大半を費やした、いや、費やさざるをえなかったというべきかもしれない。テキストに初めて接するだろう受講者に配慮したためであった。講師は、この読解をつうじて、古典のもつ生命力を再確認する機会を得た。

今回は、最初に過去100年のあいだに資本主義世界経済に生じた変化を考察する。次に、現実に生起しているさまざまな事象を参照しつつ帝国主義の「腐朽と寄生性」のあらわれを検証するが、その視野の先に、社会主義をめざす労働者階級の闘いの根本問題が見えてくるはずである。

〈シリーズ〉侵略国家アメリカ——その歴史と現実 後期・第2回

日時

2月16日(火)

開始 18:45
 終了 21:00

講師

富山栄子

国際交流
 平和フォーラム代表

ソ連・東欧への反革命攻撃

——反ソ・反共イデオロギーの全世界への流布とその実践

欧州社会主義圏が消滅してから30年が経った。米主導NATOは対ソ軍事態勢から域外へ拡大、ユーゴスラビア空爆・湾岸戦争を始めに発展途上国＝第三世界支配機構へ変容した。解体されたソ連邦の旧共和国と国境をもつ中国は上海協力機構を端緒にユーラシア統合に向かって進んでいる。西半球は紆余曲折を経ながらも統合過程にあり、「21世紀の社会主義」を実践しようとしているが、歴代米政権はこの潮流を封鎖・制裁・威嚇ならびに干渉で押しとどめようとしている。今回の講座ではベルリンの壁や社会主義の「崩壊」について考えたい。

会場案内 ★最寄り駅は地下鉄丸の内線・大江戸線
本郷三丁目駅

会場 **本郷文化フォーラムホール**

〒113-0033東京都文京区本郷3の29の10飯島ビル1F
 (最寄駅=地下鉄本郷三丁目)

■問い合わせ TEL=03(5804)1656
 FAX=03(5804)1609

メールアドレス=hows@dream.ocn.ne.jp

